

GVD社の製品紹介



エスエスユニット 営業部長
岡崎功治氏

エスエスユニット

エスエスユニットは、2006年9月設立の若い会社である。しかし、スタッフのセキュリティ産業界での経験や実績は特筆に値する。代表者は、監視システム分野で30年以上日本国内のみならず世界各地で経験を積んできている。また、営業および技術担当者も、20年近いキャリアを誇る。

同社は、現在MESSOA社の日本独占販売権を有している。MESSOA社は、世界の手続きセキュリティメーカーにカメラのOEM/ODM供給を手がけているTOPCO社が2000年に自社ブランド製品の製造・販売を目的として設立した会社である。TOPCO社は台湾で1991年より監視用カメラの設計および製造を開始し、台湾では知名度、実績ともにトップクラスの企業である。

また、今回発表したGVD (Genius Vision Digital)社は、上記MESSOA社のパートナーであり、メガピクセル・ネットワーク・ビデオレコーダおよび映像管理ソフトウェアを開発している。同社は2007年設立だが、創業者メンバーは、それまでにIP監視システム分野で10年以上にわたる経験を有するプロフェッショナル集団であり、USAシリコンバレーベンチャーキャピタルにより財政支援されている会社である。

わずか2年余の間に米国リッチモンド市港湾施設やデトロイト市フォード本社などで大規模システムの導入実績を有していることが、製品に対する高い評価を表している。

エスエスユニットは、MESSOA社の日本総代理店であり、またMESSOA社のマーケティングパートナーであるGVD社のパートナーでもある。GVD社の社長スティーブ氏が、今回の岡崎氏の講演に合わせて来日、講演の冒頭、聴講者に挨拶した。

GVD社とは

GVD社は、大規模システムに対応可能なネットワーク映像監視システムの開発を行っている。同社のマーケティングパートナーであるMESSOA社が、エスエスユニットと日本代理店契約を締結した縁で、エスエスユニットを日本市場での販売拠点とするパートナーシップを結んだ。

大規模システムに適用

GVD社製品の特徴的な機能の一つにTSE(Time Sector Engine)がある。通常、録画データを取り出す場合、他社製品では「index」を経由しなければならないが、TSEを使えばデータをハードディスクから直接参照でき高速アクセスを実現できる。他にも、同社製品は、環境に合わせた帯域制御や機能の分散による録画システムへの負荷の軽減など、大規模システムに適した機能を用意している。

岡崎氏は、GVD社の主力製品として、最大8メガピクセルのネットワークカメラに対応し、ハードディスクを最大5台搭載できるNVR「M200シリーズ」を紹介し、さらにハードディスク3台を搭載可能な「M300シリーズ」も紹介した。また、ワークステーションのEシリーズは集中監視用システムで、最大で4台までのマルチディスプレイに対応し、カメラ32台分の映像を分割表示することができる。ジョイスティックタイプのシステムコントローラ「K200」は、接続できるカメラ台数が無制限で、複数のNVRを管理することが可能だ。これらのGVD社の製品は、リッチモンドの港湾施設やフォード本社などの大規模施設で導入されており、好評を博している。

